

政治決着への決意はいかに 〜仁淀川取水事業〜

平成3年12月、本市の慢性的な水不足解消のため、仁淀川からの取水について、当時の県知事を立会人として、本市と伊野町との間で協定が締結され、翌年12月には、協力金等の支出に係る覚書の締結を行いました。

この覚書により、本市は取水先のいの町に対して、製紙工場からの排水対策を目的とした仁淀川水質等環境保全対策費（以下、環境保全対策費）7500万円余りを毎年支払っています。

問 協定書第7条に基づきの町との協定の見直しについて聞く。

答 協定書第1条には、日量最大12万トンの取水が規定されており、それを前提として、環境保全対策費等を支払う覚書を締結している。しかし、協定締結から四半世紀が経過し、人口減少や節水機器の普及等により、水需要が大きく減少する時代となったことから、湯水などさまざまなリスクを想定しても、本市では、安定給水に必要な取水量は、日量最大6万トンに下方修正することが可能と判断している。こうした協定締結当時から

著しい社会環境の変化もあり、疑義が生じた場合の協議について規定した協定書第7条に基づき、覚書の見直しの協議をいの町に求めている。

問 仁淀川の水質改善の現状について聞く。

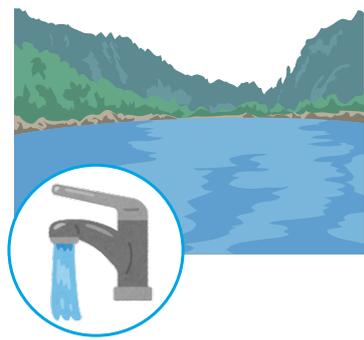
答 平成29年3月定例会における仁淀川の白濁の指摘を受け、本市で調査したところ、支流の相生川で、製紙原料の主成分であるセルロースによる白濁した水の流れ込みが散見された。

本市が実施した仁淀川の伏流水の水質調査では、水道原水の安全性は確認されているが、水質汚濁防止法に基づく県の検査では、排水基準を超過している施設が複数確認されており、その対策としては、製紙工場における排水処理施設の設置が有効と判断している。

いの町では、環境保全対策費は製紙工場を対象とした排水処理施設整備補助金制度などに使われているが、事業者がより利用しやすい制度とするため、補助額の上限5000万円の見直しや、施設の更新時にも制度を利用できるように補助対象を拡大することなどをこれまでも要望してきているが、制度の見直しには至っていない。

こうしたことから、いの町をはじめとする関係機関に対して、仁淀川環境保全対策協議会の場において、環境保全対策費を有効に活用した製紙工場における

排水対策の取り組みを積極的に進めていくよう、今後も強く申し入れていく。



本市は平成20年1月1日に春野町を編入合併していますが、その準備期間に開催された18年12月議会において、本市議会は、環境保全対策費の見直しを求め、決議を全会一致で可決しています。

これは、春野町との合併により、それまで仁淀川の水を用水として利用してきた春野町の地位を本市が包括的に承継する立場から、環境保全対策費の支出根拠に重大な変更が生じるものとして、合併期日までに協定書の見直しを行うことを求めたものですが、実現には至っていません。

問 この問題を政治決着する意向はないか。

答 決議が可決されて以降、たびたび上下水道事業管理者がいの町を訪問しているが、前回の町長は、平成3年の協定締結に至るまでの経緯があるため、

現在の当事者が軽々しく論ずるべきではないとの立場であり、環境保全対策費の見直しの協議に応じてもらえない。また、現町長も同じ考えとのことである。

この問題解決には、地元関係者の理解と政治的な判断が必要とされており、その前提として、いの町をはじめとする関係機関に、協定締結当時から社会環境の変化を理解してもらうとともに、まず交渉のテーブルに着いていただけるよう、環境保全対策費の見直しだけではなく、水道事業の広域連携のあり方などについても意見交換できる環境を整えながら、問題解決の糸口を見出していきたい。

3月定例会 で可決した 主な議案

- 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正議案
公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い、平成31年3月1日以降に期日が告示される選挙から市議会議員の選挙運動用ビラの作成に係る費用を無料とするとともに、規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。
- 鏡吉原ふれあいの里条例の一部改正議案
キャンプ施設の使用料を無料とするともに、当該施設の休場日を変更するため、条例の一部を改正するもの。
- 都市公園条例の一部改正議案
都市公園内において許可を要する行為について、当該許可を不要とする特例の対象に公園施設の設置等の許可を受けた者を追加するため、条例の一部を改正するもの。

平成29年度 議会情報公開制度・個人情報保護制度 の利用状況をお知らせします。

- 議会情報公開制度の利用状況
公開請求の状況 ————— なし
- 議会個人情報保護制度の利用状況
(1) 開示請求、訂正請求、利用停止請求の状況 ————— なし
(2) 苦情、相談の件数 ————— なし